

「いしかわ森林・林業・木材産業振興ビジョン2021（案）」に対する意見募集の結果について

1 募集期間：令和3年2月19日（金）～令和3年3月19日（金）

2 寄せられた意見：77件（林業34、木材産業14、森林12、里山8、その他9）

No	項目	意見内容	意見に対する考え方（案）	区分
1	林業の魅力ある産業としての飛躍的な発展	県内の森林組合を除く林業事業体は、経営規模が小さく、経営者の高齢化が進み後継者がおらず、事業の存続が危ぶまれる者も少なくない状況にあります。また、新規就業者を雇用し事業を活性化している者は殆どなく、今後、主伐期を迎えた森林も含め、森林整備活動を拡大・継続することが出来るのか危惧されます。 一方、県では、作業の省力化を図り、事業の収益性を高めるスマート林業の取組を進めることとしており、若者にも林業に参入しやすい環境を創ることで林業従事者を確保し、林業技術者として育成を進め、林業事業体の体質を強化していただき、林業が魅力ある産業として発展していくことで、県内の森林を健全な姿で守ってほしい。	本ビジョンにおいても、「林業が魅力ある産業に発展し、林業従事者が誇りをもって現場で活躍する」姿を目指し、林業事業体の経営基盤の強化や、林業従事者の所得向上、労働環境の改善を進めることとしています。	ビジョンに反映されている意見
2	林業の魅力ある産業としての飛躍的な発展	「森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律」で定義されている譲与税の用途の中に、「森林の整備を担うべき人材の育成及び確保」とあるが、県内の市町では余り活用されていない現状にある。事業量が多い能登地区で従事者の確保が難しいなど県全体で不足していることや、就労条件や労働災害の発生状況などの現状について市町に理解してもらい、新規参入者の定住や定着しやすい就労環境にするための支援策について、県から市町に指導・助言をお願いしたい。	本ビジョンにおいても、林業従事者の確保・育成、労働環境の改善を図るため、県に配分された譲与税などを活用して対策を行っていくこととしています。	ビジョンに反映されている意見
3	林業の魅力ある産業としての飛躍的な発展	森林経営管理法が施行され森林整備が徐々に進む中、「意欲と能力のある林業経営者」として現在17事業体が登録されている。しかしながら、市町では経営管理実施権の設定に至っておらず、これらの事業体に対する事業量の確保に余りつながっていないことから、取り組みをより一層推進してほしい。 また、「意欲と能力のある林業経営者」等が連携し、従事者が不足する地域へ従事者の派遣する取り組みなども進めてほしい。	本ビジョンにおいても、市町が集積した森林のうち、経営的に成り立つ森林については、「意欲と能力のある林業経営者」への再委託を進めることとしています。 「意欲と能力のある林業経営者」等の連携の取り組みについては、本文に追記しました。	ビジョンに反映されている意見 ビジョンに反映した意見
4	林業の魅力ある産業としての飛躍的な発展	「林業従事者の所得向上や福利厚生充実の充実」を図るためには、現行の施策に加え、新たな対策を講じていく必要がある。週休2日制の導入については、例えば公営林整備においてモデル団地を設定し掛かり増しとなる費用等を支援するなど、行政側もより踏み込んだ形での取り組みを進めてほしい。	本ビジョンにおいても、林業従事者の所得向上や福利厚生充実を図ることが重要であると位置づけています。 その他、いただきましたご意見については、今後の参考とさせていただきます。	ビジョンに反映されている意見 今後の参考にす意見

「いしかわ森林・林業・木材産業振興ビジョン2021（案）」に対する意見募集の結果について

1 募集期間：令和3年2月19日（金）～令和3年3月19日（金）

2 寄せられた意見：77件（林業34、木材産業14、森林12、里山8、その他9）

No	項目	意見内容	意見に対する考え方（案）	区分
5	林業の魅力ある産業としての飛躍的な発展	「林業従事者の確保・育成対策の強化」で最も優先すべきは、安全対策をより一層充実し労働災害を減らすことだと考える。例えば、下請け作業が多い小規模事業者等への教育体制の強化、かかり木を簡易な用具で処理する実践的な研修の開催、管理職の意識改革など、安全につながる取り組みを継続的に進めてもらいたい。	本ビジョンにおいても、林業従事者の確保には労働安全対策の一層の充実が必要であることから、安全技術研修の強化等を進めることとしています。	ビジョンに反映されている意見
6	林業の魅力ある産業としての飛躍的な発展	「林業行政職員の育成・確保」は喫緊の課題であり、新規職員の確保に向けた取り組みを強化することは非常に重要だと思う。例えば、石川県立大学や農業系高校等において行政や林業労働対策基金による就職説明会を開催するなど、より具体的な取り組みを進めてもらいたい。	本ビジョンにおいても、行政職員の確保・育成が重要な課題であることから、大学への声かけや、技術研修等を通じて、新規職員の確保・育成を進めることとしています。	ビジョンに反映されている意見
7	林業の魅力ある産業としての飛躍的な発展	主伐と低コスト再造林を進めていくためには、コンテナ苗生産者の育成は不可欠であるが、生産する苗が必ずしも需要に結びつかないリスクがある。このため、苗木の需要者側が予約した分を購入するといった形や緑化センター等での苗木生産など、体制強化を図ってもらいたい。	本ビジョンにおいても、今後の主伐・再造林を進めていく上で、苗木の需給調整はこれまで以上に重要な課題であることから、苗木の供給体制の強化を進めることとしています。	ビジョンに反映されている意見
8	林業の魅力ある産業としての飛躍的な発展	所得の向上は、林業従事者の定着には欠かせません。ついては、官民一体となって、林業従事者の年間所得の向上につなげ、さらにそれが、林業従事者のモチベーションのアップになることを期待します。	本ビジョンにおいても、「林業が魅力ある産業に発展し、林業従事者が誇りをもって現場で活躍する」姿を目指し、林業事業者の経営基盤の強化や、林業従事者の所得向上、労働環境の改善を進めることとしています。	ビジョンに反映されている意見

「いしかわ森林・林業・木材産業振興ビジョン2021（案）」に対する意見募集の結果について

1 募集期間：令和3年2月19日（金）～令和3年3月19日（金）

2 寄せられた意見：77件（林業34、木材産業14、森林12、里山8、その他9）

No	項目	意見内容	意見に対する考え方（案）	区分
9	林業の魅力ある産業としての飛躍的な発展	花粉発生源対策事業の主伐再生林の取り組みが進み、県産材の生産量が大幅に拡大することを期待しています。 再生林の対象樹種に県木「アテ」が早期に採用されることを望みます。 理由は、「アテ」は花をほとんど付けない（花粉が非常に少ない）樹種であること。 さらに、「アテ」は平成3年の台風19号で被害を受け資源量が少なくなっています。生産量を増加させる取り組みを早期に着手し、安定供給体制ができることを望みます。	本ビジョンにおいても、主伐・再生林を積極的に進めることとしています。 なお、アテについては、花粉量についての試験研究データを蓄積した上で、花粉発生源対策として有効か否かを適切に判断していきたいと考えております。	ビジョンに反映されている意見
10	林業の魅力ある産業としての飛躍的な発展	林業労働者の確保、定着につなげるための取組を期待します。 事業体として、安全は絶対です。かつて、バスの就学旅行で家に帰るまでが旅行ですとガイドさんが言っていたことを最近思い起こしています。 「無事故で帰宅」を常に頭において、現場職員を含め全員に伝えていきたいと考えています。 また、所得の向上は定着には欠かせません。 若い職員と面談するときなどに話すことは、利益が出たら、働いた人、利用した人、組織を維持するため、の3つに利益を配分・利用すると言っています。 それによって、年間所得の向上につなげ、さらにそれが、モチベーションのアップになることを期待しているところです。	本ビジョンにおいても、「林業が魅力ある産業に発展し、林業従事者が誇りをもって現場で活躍する」姿を目指し、林業事業体の経営基盤の強化や、林業従事者の所得向上、労働環境の改善を進めることとしています。	ビジョンに反映されている意見
11	林業の魅力ある産業としての飛躍的な発展	森林整備を進めるには、集約化は必須であり、あわせて、境界の確認も重要です。 これらの取り組みが着実に進むことを大いに期待しています。	本ビジョンにおいても、森林整備の推進には集約化、境界確認が重要であることから、AIを活用した境界推定や森林クラウドによる情報の共有等により、森林経営の効率化を進めることとしています。	ビジョンに反映されている意見
12	林業の魅力ある産業としての飛躍的な発展	ICT機器の使用方法に関する研修を充実させてほしい。新しいことへの挑戦となるため、是非素人にもわかるような懇切丁寧な研修体制の確立及びわからない時のための連絡窓口サービス向上をお願いしたい。	本ビジョンにおいても、スマート林業の推進には人材の育成が重要であることから、機材の操作からデータ活用に至るまで体系的にICTの活用を習得できるよう研修を大幅に強化していくこととしています。	ビジョンに反映されている意見

「いしかわ森林・林業・木材産業振興ビジョン2021（案）」に対する意見募集の結果について

1 募集期間：令和3年2月19日（金）～令和3年3月19日（金）

2 寄せられた意見：77件（林業34、木材産業14、森林12、里山8、その他9）

No	項目	意見内容	意見に対する考え方（案）	区分
13	林業の魅力ある産業としての飛躍的な発展	航空レーザ等の高額な初期投資に関するデータおよびハードソフト面の整備に関して県が先頭に立って推進してほしい。林業事業者がそれらを活用しやすい環境づくりに協力してほしい。	本ビジョンにおいても、航空測量等で高精度な森林情報を取得し、林業事業者等が森林クラウドで共有できる体制整備や、研修の充実を進めることとしています。	ビジョンに反映されている意見
14	林業の魅力ある産業としての飛躍的な発展	若者の林業従事者を増加させるためには、スマート林業の普及による労働環境の改善が重要である。それともう一つ、現代の若者気質の特徴の一つである環境に関する意識の高まりに注目したい。近年、森林の多面的機能の重要性がクローズアップされている。森林の木材生産機能も大切な要素ではあるが、環境保全の機能を前面にアピールすることも現代の若者気質にフィットするのではないだろうか。森林に対するイメージを向上させることにより、今ある林業へのイメージを向上されることが大変重要と考える。そのために、環境に配慮した森林整備事業を大きくアピールすると同時に、それらの整備事業に取り組んでいる林業事業者を支援する制度の確立が必要なのではないだろうか。SDGsへの関心の高まりとともに林業のあり方を再構築することが大切である。そのことが現代の若者気質を刺激し、林業従事者（担い手）の確保につながるだろうか。	本ビジョンにおいても、「林業が魅力ある産業に発展し、林業従事者が誇りをもって現場で活躍する」姿を目指し、林業従事者の労働環境の改善を進めることとしています。その他、いただきましたご意見については、今後の参考とさせていただきます。	ビジョンに反映されている意見 今後の参考とする意見
15	林業の魅力ある産業としての飛躍的な発展	もうかる林業 収入賃金のアップ！ 林業従事者（作業員）の賃金改革が必要だと思えます。	本ビジョンにおいても「林業が魅力ある産業に発展し、林業従事者が誇りをもって現場で活躍する」姿を目指し、林業事業者の経営基盤の強化や、林業従事者の所得向上、労働環境の改善を進めることとしています。	ビジョンに反映されている意見
16	林業の魅力ある産業としての飛躍的な発展	担い手不足で山の管理をする人がいない、木材の単価も低迷し 木を伐採・植林・保育などお金を費やす事を思えば自然のままに放置するとゆう山主が多い。仕事の上で少しでも木材の材価を高く販売し 少しでも多くの還元而努力する毎日です。利用間伐材の残存木（胸高直径10cm未満の材・アテ漏脂病材）を全て搬出する事が出来ないか？	本ビジョンにおいても、スマート林業の実践により林業収益力を向上と、「意欲と能力のある林業経営者」の経営規模の拡大を進めることで、森林所有者の収入の引き上げと、林業従事者の所得向上等による担い手の確保を進めることとしています。	ビジョンに反映されている意見

「いしかわ森林・林業・木材産業振興ビジョン2021（案）」に対する意見募集の結果について

1 募集期間：令和3年2月19日（金）～令和3年3月19日（金）

2 寄せられた意見：77件（林業34、木材産業14、森林12、里山8、その他9）

No	項目	意見内容	意見に対する考え方（案）	区分
17	林業の魅力ある産業としての飛躍的な発展	「スマート林業」と「意欲と能力がある林業事業者」という言葉が多用されているのが気になった。	本ビジョンでは、主伐・再造林の推進による経済林の循環利用を実現するため、森林バンク制度等を活用した事業地の集約による経営基盤の強化や、スマート林業の実践による林業収益力の向上を進めることから、記載しているものです。	今後の参考とする意見
18	林業の魅力ある産業としての飛躍的な発展	10年後に30万m ³ を本当に目指すなら、最初の5年で550人の人材を確保・育成をするくらいの施策が必要と考える。そのためにどんな手が打てるのかを考えたら「これまで通り」ではダメだということは明白。いくらスマート林業やICT活用といっても、それを動かすのも人。森林施業プランナーの資格を持っていなくても、地域に精通した人さえいれば集約化はできる。このままでは経営意欲のない森林所有者が森林バンク制度に登録しても、施業する人材がいなければ整備は進まない。	本ビジョンにおいても、林業従事者の確保・育成が重要な課題と位置付けており、取り組みを強化していくこととしています。また、境界明確化等を進めるため、地域に精通した人材を積極的に活用することとしています。	ビジョンに反映されている意見
19	林業の魅力ある産業としての飛躍的な発展	「どうしたら人材が確保・育成できるのか」を事業者の努力で「賃金を上げ・待遇を改善する」のを求めるのは酷だと思う。そもそも林業事業者はもうかっていない。林業先進地ではない石川県で、それでも林業をやりたくなる仕組みを考えることが必要だと思う。	本ビジョンにおいても、森林バンク制度等を活用した事業地の集約による経営基盤の強化や、スマート林業の実践による林業収益力の向上により、森林所有者の収入と併せて、林業従事者の所得向上や労働環境の福利厚生を充実を図り、林業の魅力ある産業への発展を目指すこととしています。	ビジョンに反映されている意見

「いしかわ森林・林業・木材産業振興ビジョン2021（案）」に対する意見募集の結果について

1 募集期間：令和3年2月19日（金）～令和3年3月19日（金）

2 寄せられた意見：77件（林業34、木材産業14、森林12、里山8、その他9）

No	項目	意見内容	意見に対する考え方（案）	区分
20	林業の魅力ある産業としての飛躍的な発展	・林業経営におけるコストダウンが木材産業の原価を下げるようになってはいけない。コストダウンした分は、森林所有者の収益向上に努力した上で、もうかっていない林業事業者の体力強化に使うべきだし、現場で働く人へ還元したい。林業従事者に「誇りをもって」と言いながら「やりがい搾取」をしているようでは、林業を魅力ある産業にすることなどできない。	本ビジョンにおいても、森林バンク制度等を活用した事業地の集約による経営基盤の強化や、スマート林業の実践による林業収益力の向上により、森林所有者の収入と併せて、林業従事者の所得向上や労働環境の改善、福利厚生の実現を図り、林業の魅力ある産業への発展を目指すこととしています。	ビジョンに反映されている意見
21	林業の魅力ある産業としての飛躍的な発展	現在の本県の「意欲と能力のある林業事業者」の定義に疑問を感じる。登録者の頭数をそろえることではなく、内容を精査して見直しをしてもいいのではないのでしょうか。	いただきましたご意見については、今後の参考とさせていただきます。	今後の参考にす る意見
22	林業の魅力ある産業としての飛躍的な発展	林業行政職員は確かに不足している。そして現場をもっと見て感じて、施策に生かしてほしい。	いただきましたご意見については、今後の参考とさせていただきます。	今後の参考にす る意見
23	林業の魅力ある産業としての飛躍的な発展	安全に作業が出来て安定した収入を得ることが出来ること、また自分の伐採した県産材が目につける箇所利用されていることが、モチベーションを高めることにもなり魅力ある産業への足掛かりとなると思います。	本ビジョンにおいても、林業従事者の確保には労働安全対策の一層の実現や所得向上が必要であることから、安全技術研修の強化や労働環境の改善等を進めることとしています。	ビジョンに反映 されている意見

「いしかわ森林・林業・木材産業振興ビジョン2021（案）」に対する意見募集の結果について

1 募集期間：令和3年2月19日（金）～令和3年3月19日（金）

2 寄せられた意見：77件（林業34、木材産業14、森林12、里山8、その他9）

No	項目	意見内容	意見に対する考え方（案）	区分
24	林業の魅力ある産業としての飛躍的な発展	林業従事者の確保と定着のため、職場環境の向上、安全費の確保、就労条件の充実への取組を期待しています。	本ビジョンにおいても「林業が魅力ある産業に発展し、林業従事者が誇りをもって現場で活躍する」姿を目指し、林業事業者の経営基盤の強化や、林業従事者の所得向上、労働環境の改善を進めることとしています。	ビジョンに反映されている意見
25	林業の魅力ある産業としての飛躍的な発展	林業を魅力ある産業とするには、先ず森林所有者の心が豊かになること、それには持山が環境や経済面で社会貢献できているかが目に見えてわかること、それを可能にするための次のような政策が推進されることを願います。 ① 先人が植え育てた森林を所有者へ境界、資源情報も含めて通知（AI・ICT技術を駆使）してあげること、そこで所有者の環境、経済両面での投資を促し、それでも権利放棄される場合は公共財産として管理する。そのことが持続可能な地域森林林業の成長産業化に繋がると思います。 ② 豊富な森林資源をどう生かすか、利用間伐、更新伐、皆伐・再造林とその保育管理、これらを計画的に実行するには、林業技術者があまりにも少なすぎます。林業事業者でも意欲をもって、積極的雇用に取り組み生産性向上に努めておりますが、技術習得と安全管理に過大な費用が必要であり、まだまだ林業技術者の所得向上、待遇改善に繋がっていない現状を理解していただき、他業種なみの間接経費、安全対策経費について何らかの支援策をお願いしたい。 「いしかわ森林業・林業・木材産業振興ビジョン2021」が達成できれば、県民の幸福度は今以上に向上していくでしょう。このビジョンが夢で終わることがないことを祈り、今後、どのような政策が実行されていくか大いに期待しております。	本ビジョンにおいても、航空測量等による高精度な森林情報を基に、AIを活用した境界推定や森林クラウドによる情報の共有等を進めることしております。 また、林業従事者の確保・育成に向け、スマート林業の推進等による労働負荷の軽減や安全性の向上、技術研修の充実により労働安全対策の強化等を進めることとしています。 その他、いただきましたご意見については、今後の参考とさせていただきます。	ビジョンに反映されている意見 今後の参考とする意見
26	林業の魅力ある産業としての飛躍的な発展	『4つの分野毎の10年後の目指す姿、施策の推進方針、主な指標』の課題に記載してありましたが、やはり林業において一番の課題と考えるのは、担い手の確保かと考えております。林業従事者が減少しており、組合としてもホームページや地区座談会、林業体験などでアピールをしていますが、なかなか難しいのが現状です。担い手募集について多いに期待したい。同じく林業従事者の労働災害が多いと考えます。林業団体として労働安全に関する会議や実技研修会、現場での指導等を行っておりますが、現状では労働災害が発生してしまう。発生している点としまして他産業とは違い山林では危険個所がたくさんあり、体力も多様に消費する現状、安全かつ効率を考えると難しい状況が挙げられています。これらの対策に助成制度等は無いものか検討して頂きたい。	本ビジョンにおいても、林業従事者の確保のためには労働災害の撲滅への取り組みは不可欠であることから、スマート林業の推進等による労働負荷の軽減や安全性の向上、技術研修の充実により労働安全対策の強化等を進めることとしています。	ビジョンに反映されている意見

「いしかわ森林・林業・木材産業振興ビジョン2021（案）」に対する意見募集の結果について

1 募集期間：令和3年2月19日（金）～令和3年3月19日（金）

2 寄せられた意見：77件（林業34、木材産業14、森林12、里山8、その他9）

No	項目	意見内容	意見に対する考え方（案）	区分
27	林業の魅力ある産業としての飛躍的な発展	林業従事者の高齢化、人材不足が加速度的に今後も続く状況を考えるにまずはその為の取り組みや政策に期待します。林業を振興するにしてもまずは労働者がいなければ何も始まらないと考えますので、何をおいても林業関係者の所得向上を第一に川上から川下まで、果ては海の向こうまでを見据えた取り組みが着実に進むこと期待しております。	本ビジョンにおいても、「林業が魅力ある産業に発展し、林業従事者が誇りをもって現場で活躍する」姿を目指し、林業事業体の経営基盤の強化や、林業従事者の所得向上、労働環境の改善を進めることとしています。	ビジョンに反映されている意見
28	林業の魅力ある産業としての飛躍的な発展	地元の小中高校生向けへ、林業や森林に関する教育を行うことで、身近に森林に関わる仕事をする人がいない環境でも、将来的に担い手となる層を増やすための取り組みを行う。UIターンを集うよりも、まずは地域での教育的側面での政策が必要ではないか。	本ビジョンにおいても、次代を担う人材の育成が重要であることから、いしかわ森林環境税を活用し、森林施業現場の見学や森林体験活動を通じた森林環境教育を進めることとしています。	ビジョンに反映されている意見
29	林業の魅力ある産業としての飛躍的な発展	一般社会人向けへ、仕事見学会や体験会を行い、林業への窓口を広げる。	本ビジョンにおいても、就業相談窓口の設置やハローワークでの就業相談等に加え、学生や一般の方々に向けた就業体験等を積極的に進めることとしています。	ビジョンに反映されている意見
30	林業の魅力ある産業としての飛躍的な発展	季節雇用や、副業解禁、短時間正社員の雇用など、さまざまな働き方で林業に関わる人を増やすための政策を進める。	本ビジョンにおいても、林業従事者の確保にあたり、月給制への移行による雇用の安定や福利厚生充実などを推進することとしています。	ビジョンに反映されている意見
31	林業の魅力ある産業としての飛躍的な発展	森林環境譲与税などを活用して、全体的な賃上げのための林業事業者や製材業者へのサポートを行うことで、担い手の確保ができないか。	本ビジョンにおいても、林業従事者の所得向上、労働環境の改善を進めることが重要と考えており、森林環境譲与税を活用して、労働環境の改善対策や技術研修等を進めることとしています。	ビジョンに反映されている意見

「いしかわ森林・林業・木材産業振興ビジョン2021（案）」に対する意見募集の結果について

1 募集期間：令和3年2月19日（金）～令和3年3月19日（金）

2 寄せられた意見：77件（林業34、木材産業14、森林12、里山8、その他9）

No	項目	意見内容	意見に対する考え方（案）	区分
32	林業の魅力ある産業としての飛躍的な発展	今回のビジョン案で県木あて（能登ヒバ）に触れていないことが、大変残念です。私どもの管内での資源量は人工林の20%程度、今後、スギ低花粉コンテナ苗による皆伐再造林事業が進めば益々枯渇することが懸念されます。今、能登の山々を見れば、スギの枝葉は赤く花粉を大量に放出しています。これに対して“あて”は緑の枝葉のままで静かにたたずんでおります。県内外では“あて”の木材としての特性の評価が高く、これをアピールしない方法はないと思います。一刻も早く“あて”を低花粉樹種とするエビデンスを明確にし、植栽し管理していくことで、50年先、100年先の石川県の特性ある林業の未来へとバトンをつなぐことができると確信しております。	本ビジョンにおいても、県木アテの生産振興は重要であることから、資源が持続的に活用できる択伐施業や地位が高く成長がよい場所での主伐・再造林の推進し、また、「能登ヒバ」のブランド化に取り組むこととしています。 なお、アテについては、花粉量についての試験研究データを蓄積した上で、花粉発生源対策として有効か否かを適切に判断していきたいと考えております。	ビジョンに反映されている意見
33	林業の魅力ある産業としての飛躍的な発展	県産材供給30万㎡を目指すためには、主伐の増加が必要となる。そのためにも引き続き花粉発生源対策事業の強化を図り、主伐・再造林に取り組んでいきたい。 森林所有者・作業従事者の所得向上ができれば主伐・再造林の取り組みに拍車がかかるように思う。 またその際、資源量調査や作業において多くの労力がかかるので、スマート林業の普及によりコスト削減、労力軽減できるよう普及を期待しています。	本ビジョンにおいても、林業事業体の経営基盤の強化や、スマート林業による林業収益力の向上により、主伐・再造林を進めることとしています。	ビジョンに反映されている意見
34	林業の魅力ある産業としての飛躍的な発展	森林整備を行うにあたっては、人工林資源が本格的な利用時期を迎えている中で、森林所有者の高齢化や意欲の低下または不在村者の増加で、森林整備が進まない現状が発生しています。 それを打開するには森林所有者への働きかけや低コスト化で効率的な施業を行う事で、利用間伐等の施業で森林所有者へ還元金を少しでも多くする事で林業収入の増加が意欲の向上に繋がると考えます。	本ビジョンにおいても、森林整備の促進には林業収益力の向上が重要であると考えており、林業事業体の経営基盤の強化や、スマート林業の実践等により、林業収益力の向上に向けた取り組みを進めることとしています。	ビジョンに反映されている意見
35	木材産業の体制強化と県産材の利用拡大	資源の循環利用を進めるための需要拡大の中で、非住宅建築物の木造化は重要と考えます。県産材の利用拡大が進むことを大いに期待しています。	本ビジョンにおいても、非住宅建築物への県産材利用拡大に向けて、CLT等の木質新材の普及や建築士の育成に取り組むこととしています。	ビジョンに反映されている意見

「いしかわ森林・林業・木材産業振興ビジョン2021（案）」に対する意見募集の結果について

1 募集期間：令和3年2月19日（金）～令和3年3月19日（金）

2 寄せられた意見：77件（林業34、木材産業14、森林12、里山8、その他9）

No	項目	意見内容	意見に対する考え方（案）	区分
36	木材産業の体制強化と県産材の利用拡大	県産材利用への助成など、具体的な施策の取り組みにより、県産材の供給量の目標の達成を大いに期待しています。	本ビジョンにおいても、住宅や非住宅建築物への県産材利用拡大に取り組むこととしています。	ビジョンに反映されている意見
37	木材産業の体制強化と県産材の利用拡大	花粉発生源対策事業の主伐再生林の取り組みが進み、県産材の生産量が大幅に拡大することを期待しています。なお、本事業による植替え対象樹種にアテが早期に採用されることを望みます。	主伐・再生林については、国の花粉発生源対策促進事業などを活用して、しっかりと進めてまいりたいと考えております。また、当該事業の対象樹種については、林業試験場において、アテの花粉量についての試験研究データを蓄積した上で、対象樹種を適切に判断していきたいと考えております。	今後の参考にす意見
38	木材産業の体制強化と県産材の利用拡大	資源の循環利用を進めるための需要拡大の中で、非住宅建築物の木造化は重要と考えます。なお、コロナの時代にあって、抗菌性を有するアテの利用も検討に値すると思います。県産材利用への助成など、具体的な施策の取組により、目標の達成を大いに期待しています。	本ビジョンにおいても、非住宅建築物への県産材利用拡大に向けて、CLT等の木質新材の普及や建築士の育成に取り組むこととしています。また、アテの活用については、試験研究による抗菌性等の検証と併せて、安定供給を目指した取り組みを進めることとしています。	ビジョンに反映されている意見
39	木材産業の体制強化と県産材の利用拡大	スマホ等を利用した木材検収システムの導入をはじめ、林業現場と原木市場間の流通システムを思い切ってスマート化してほしい。いろいろ困難な面はあるが、県が主導し思いきった転換を図ってほしい。地産地消の原則のもと対応の迅速化がカギを握っているように思われる。できることからやると同時に大胆に時代を先取りしてのプラットフォーム構築のための援助をお願いしたい。	本ビジョンにおいても、ICTを活用した経営の効率化は重要な項目と位置づけており、スマート林業の実践や需給マッチングシステムの構築を進めていくこととしています。	ビジョンに反映されている意見
40	木材産業の体制強化と県産材の利用拡大	もうすでに取り組まれているが、さらに進めて、県内の公共施設の改築及び新築を、すべて木材を利用した施設に転換していく方針を強く打ち出してほしい。もともと日本は木の文化の国である。今後の循環型社会に対応していくためにも木の利用の促進は時代にマッチしているように思われる。	本ビジョンにおいても、県産材の利用拡大は重要項目と位置付けており、学校等大規模な建築物で木造化が困難なものについても、可能な限り内装等の木質化を図ることとしています。	ビジョンに反映されている意見

「いしかわ森林・林業・木材産業振興ビジョン2021（案）」に対する意見募集の結果について

1 募集期間：令和3年2月19日（金）～令和3年3月19日（金）

2 寄せられた意見：77件（林業34、木材産業14、森林12、里山8、その他9）

No	項目	意見内容	意見に対する考え方（案）	区分
41	木材産業の体制強化と県産材の利用拡大	公共工事の木材使用（小学校・幼稚園・保育所）率の普及は？	本ビジョンにおいても、県産材の利用拡大は重要項目と位置付けており、学校等大規模な建築物で木造化が困難なものについても、可能な限り内装等の木質化を図ることとしています。	ビジョンに反映されている意見
42	木材産業の体制強化と県産材の利用拡大	林業従事者の確保も大切であるが、製材業者の確保にも力を入れるべきではないか。全国のデータではあるが、農林水産省掲載のデータを見ても平成26年度から令和元年度までに1000件以上の製材業者が減っている。	本ビジョンにおいても、木材産業の体制強化は重要な項目と位置づけており、製材工場の規模拡大や水平連携による県外産製品に対する競争力の強化を図ることとしています。	ビジョンに反映されている意見
43	木材産業の体制強化と県産材の利用拡大	川上から川下までのサプライチェーンを構築するために、まずは、各地域の地元製材業者や木材加工業者並びに林業事業者で、互いの需要や課題感などを共有し、地元産材の利用を拡大するための目標やビジョンを制作、並びに具体的なアクションプランを立てる場を設ける。（隣の富山県でもそのような取り組みを行なっている。）県全体でのプランというよりは、各地域でそのような場を設置する方が、運搬経費などの面から見ても合理的ではないか。ICTの活用の前に、まずは各地域で上記のようなことを行うべき。	本ビジョンは、県内のあらゆる森林・林業・木材産業関係者が目指すべき姿を共有し、その実現に向け、全ての関係者が取り組む施策を取りまとめたものです。 いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。	今後の参考とする意見
44	木材産業の体制強化と県産材の利用拡大	輪島塗や山中塗、建具、仏壇など、木材の利用用途としては、小さいものでも、石川県の伝統文化に関わるような事業者とも連携をとり、県独自の文化の発信として、利用を拡大できないか。	本ビジョンにおいても、県産材利用の拡大は重要な項目と位置づけており、いしかわり山振興ファンド等を活用した多様な里山資源を活かす取り組みを進めることとしています。	ビジョンに反映されている意見
45	木材産業の体制強化と県産材の利用拡大	木材流通を最適化するために「木材コーディネーター」（※NPO法人サウンドウッズHPより）または、そのような役割を持つ方を各地に配置する。	本ビジョンにおいても、原木の流通の効率化は重要な項目と位置づけており、ICTを活用した需給マッチングシステムの構築やマッチングに係る人材の育成を図ることとしています。	ビジョンに反映されている意見

「いしかわ森林・林業・木材産業振興ビジョン2021（案）」に対する意見募集の結果について

1 募集期間：令和3年2月19日（金）～令和3年3月19日（金）

2 寄せられた意見：77件（林業34、木材産業14、森林12、里山8、その他9）

No	項目	意見内容	意見に対する考え方（案）	区分
46	木材産業の体制強化と県産材の利用拡大	花粉発生源対策事業の主伐再造林の取り組みが進み、県産材の生産量が大幅に拡大することを期待しています。 また、県産材利用への助成など、具体的な施策や取組を大いに期待しています。	本ビジョンにおいても、県産材供給量の倍増を目標に掲げており、主伐・再造林の推進により県産材の生産と利用の拡大に取り組むこととしています。	ビジョンに反映されている意見
47	木材産業の体制強化と県産材の利用拡大	主伐再造林の取り組みが進み、県産材の生産量が大幅に拡大することを期待しています。またそれに伴い、森林所有者への還元額が増大するよう運搬費の助成を望みます。	本ビジョンにおいても、県産材供給量の倍増を目標に掲げており、主伐・再造林の推進により県産材の生産と利用の拡大に取り組むこととしています。	ビジョンに反映されている意見
48	木材産業の体制強化と県産材の利用拡大	県産材の生産、製造、利用といった川上から川下への助成など、具体的な施策の取り組みにより、県産材の利用拡大が進み、木材産業が画期的かつ持続的に発展することを大いに期待しています。	本ビジョンにおいても、林業収益力の向上や木材産業の体制強化を重要な項目と位置づけ、県産材の生産と利用の拡大を図ることとしています。	ビジョンに反映されている意見
49	木材産業の体制強化と県産材の利用拡大	県内の人工乾燥材の出荷率が15%と低位にとどまっていることがプレカットを中心とした建築分野での利用が進まない理由だと考えます。 石川県特有の問題として、比較的若い人工林資源の多い能登地区には乾燥施設が少ない。 一方、乾燥施設が多い金沢・加賀地区（特に県産材を主に乾燥している南加賀木材協同組合）では、人工林が大径化しており柱適寸材が少なく、ミスマッチを起している。 このため建築分野での県産材の利用拡大を図るためには、能登の柱適寸材を金沢・加賀地区の乾燥施設に一定量、安定的に運搬することが不可欠です。 例えば現在、取り組んでいる金沢・加賀地区からのベニヤ材運搬の帰荷を使って、能登からの柱適寸材を金沢・加賀地区の乾燥施設に運ぶ取り組みが非常に有効と考えられ、これを推進するための運賃助成などの支援ができれば、もっと県産材の利用拡大が進むと考えます。	本ビジョンにおいても、品質が確かな県産材製品の安定供給及び生産性の向上は重要な項目と位置づけており、乾燥施設の導入や大径材に対応した効率的な製材加工体制の構築に取り組むこととしています。 また、需給マッチングシステムによる原木流通の効率化も図ることとしています。	ビジョンに反映されている意見

「いしかわ森林・林業・木材産業振興ビジョン2021（案）」に対する意見募集の結果について

1 募集期間：令和3年2月19日（金）～令和3年3月19日（金）

2 寄せられた意見：77件（林業34、木材産業14、森林12、里山8、その他9）

No	項目	意見内容	意見に対する考え方（案）	区分
50	多様で健全な森林の管理・保全	近年、県内では大きな災害は発生していないが、台風や豪雨による甚大な災害が、毎年、全国各地で発生しており、加えて、地球温暖化等の影響からか、異常な豪雨等が頻発し、県内においても、重大な災害の発生リスクが高まっていると思われます。 災害を防ぐには、事前の備えが必要であり、国の緊急対策等も活用するなど予算を十分に確保していただき、災害の発生リスクの高い地区から優先的に保安施設や森林の整備を迅速に進め、安全・安心に暮らせる環境を創ってもらいたい。	本ビジョンにおいても、災害に強い森林づくりは重要な項目と位置づけており、山地災害等リスクが高い山地災害危険地区における治山事業の着手を進め、効果的な防災・減災対策に努めることとしています。 なお、治山施設の機能強化・老朽化対策の推進について、本文に追記しました。	ビジョンに反映されている意見 ビジョンに反映した意見
51	多様で健全な森林の管理・保全	地権者を特定する際、現森林簿は地番1が代表地権者名のみ記載箇所があり、地番2に複数の地番のみが記載されて箇所がある。これにより地番2の地権者が特定できず困ることがある。これを解決するには旧森林簿を利用するしかなく非効率的である。現森林簿をより精度の高いものに再整備してほしい。森林クラウド上での場所と現場の状況がずれている箇所がある。例えば小班の位置が正確とはいえず、結局現地へ行っての測量しか信用できないことになる。専門的なことはよくわからないが、何とか高精度なクラウドシステムを早急に整備してほしい。高精度なクラウドシステムが整備されることにより、様々な作業での省力化・効率化が進められる。	本ビジョンにおいても、高精度な森林情報の取得を進め、森林クラウドでの共有等により施業の集約化等に係る作業の省力化・効率化を進めていくこととしています。 その他、いただきましたご意見については、今後の参考とさせていただきます。	ビジョンに反映されている意見 今後の参考とする意見
52	多様で健全な森林の管理・保全	ゾーニングにより「経済林」に区分された箇所は、大胆な規制緩和を実施してほしい。森林経営計画制度や森林バンク制度の趣旨はよく理解できるが、施業をしていく上で大変煩雑かつ規制的な面がある。例えば、経営計画の林班計画は、林班内の1/2以上の対象面積を確保しなければならないなど、施業の集約化の観点からはよく理解できるものの、実際の施業をしていく上で足かせになる場合がある。丸太の需要量に対して県産材の供給量が著しく不足していることから、何とか国に働きかけをしてほしい。	森林経営計画制度や森林バンク制度は、基本的に法令に基づいて運用されることとなりますが、いただきましたご意見については、今後の参考とさせていただきます。	今後の参考とする意見

「いしかわ森林・林業・木材産業振興ビジョン2021（案）」に対する意見募集の結果について

1 募集期間：令和3年2月19日（金）～令和3年3月19日（金）

2 寄せられた意見：77件（林業34、木材産業14、森林12、里山8、その他9）

No	項目	意見内容	意見に対する考え方（案）	区分
53	多様で健全な森林の管理・保全	<p>松くい虫に強い「抵抗性クロマツ」は防風林、景観の改善に効果的だと思います。</p> <p>珠洲市はマツタケが特産品でありますが生産量は下降している状況です。持ち堪えているアカマツを守り、更新していくために航空防除の予算を増やしてほしい。</p> <p>また、林道周辺の枯松が倒れるなどの危険があり、伐倒駆除の対象外の区域外や、枯れきった松を伐採できるような補助があると助かります。</p>	<p>本ビジョンにおいても、海岸のマツ林は「海岸防災林」として位置付け、防災林機能の発揮・維持に努めることとしています。</p> <p>また、まつたけをはじめとした野生きのこの発生を促す森づくり活動の支援についても進めることとしています。</p>	ビジョンに反映されている意見
54	多様で健全な森林の管理・保全	<p>10年単位でのビジョンをつくりつつ、100年後の石川県の森林をどのようにするか、人口予測、将来予測などを参考にしながら、どのような木を育てるか、担い手不足の観点からも今後は人の手がかからない部分を増やす必要があるかどうか、目標林型の設定等、長期的目標から逆算したビジョンをつくる。</p>	<p>森林・林業・木材産業を取り巻く情勢は法制度の整備や技術の進歩等により変化するため、本ビジョンにおいては、前ビジョンの10年間における課題等を踏まえ、中長期的な将来推計人口、推定森林資源量を見据えて10年後の目指す姿とその実現に向けた今後の施策を記載しています。</p> <p>なお、必要に応じて概ね5年後を目途に見直しを行うこととしています。</p>	ビジョンに反映されている意見
55	多様で健全な森林の管理・保全	<p>主伐後の再造林が進まないのであれば、長期的な多間伐施業を行なって、再造林にかかるコストを他のことに使うか、針広混合林や広葉樹林にするなど、将来的な保育コストを減らせないか。</p>	<p>本ビジョンにおいても、森林経営に適した人工林については、主伐・再造林による資源の循環利用を基本とし、植栽が見込めない場合は択伐施業により林業経営を継続することとしています。</p> <p>また、手入れ不足人工林など適切な管理が期待できない森林は、管理コストの低い針広混交林や広葉樹林等への誘導を進めることとしています。</p>	ビジョンに反映されている意見
56	多様で健全な森林の管理・保全	<p>七尾から穴水町を中心に風力発電の計画が100基以上あるが、そのような過度な森林での開発行為を認めると、森林の多面的機能を損なってしまうような弊害が起こるのではないかと。能登の里山里海は、世界から評価を受けて、世界農業遺産に登録されているにもかかわらずそのようなことで景観を壊すのは如何かと思う。林地開発許可制度による開発の制御だけでなく、景観に関する条例などを県独自に作れないか。</p>	<p>本県では、林地開発許可制度の適切な運用により、無秩序な開発の未然防止や林地の保全を図っています。</p> <p>なお、眺望景観の保全については「いしかわ景観総合条例」等に基づき、県の関係部局及び開発計画地の市町の連携により開発業者への指導に努めているところです。</p>	今後の参考とする意見

「いしかわ森林・林業・木材産業振興ビジョン2021（案）」に対する意見募集の結果について

1 募集期間：令和3年2月19日（金）～令和3年3月19日（金）

2 寄せられた意見：77件（林業34、木材産業14、森林12、里山8、その他9）

No	項目	意見内容	意見に対する考え方（案）	区分
57	多様で健全な森林の管理・保全	漆器、祭、太鼓などに使われる、樺などの広葉樹の大径木や、アテの木、漆などの石川県に根付いた伝統文化に関わる森を「文化林」などとして、ゾーニングできないか。	本ビジョンでは、全ての森林において目指すべき森林の姿に応じた適切な管理、保全がなされている状態を目指すため、民有林の森林を自然条件や社会的条件等により大きく5つに区分したゾーニングをしています。いただきましたご意見については、今後の参考とさせていただきます。	今後の参考とする意見
58	多様で健全な森林の管理・保全	かが森林組合で行なわれているSGEC森林認証などの認証された森林を増やす取り組みを行う。	本県でも、持続可能な森林経営を進めるため、県有林でSGEC森林認証を取得しています。 持続可能な森林経営を進めるため、SGEC森林認証を推進することについては、本文に追記しました。	ビジョンに反映されている意見 ビジョンに反映した意見
59	多様で健全な森林の管理・保全	全体的に現状を良く分析されて課題の認識や施策の方向性はとても良いと思います。 ビジョンとしての作りも緻密で、林業・木材産業の振興に対する思いが強く伝わり、力作だと感じます。 ただし記載が足りないと感じたのは、林業・木材産業は地球温暖化や水・食糧、プラスチックなど、現在切迫している環境問題を解決する手段としての貢献が大きく、今トレンドになっているSDGsとの関わりについて記載が必要ではないかと考えます。 そしてその自然環境を守っている林業・木材業の従事者が果たしている使命と役割は大きく、この方々が就労環境の改善も含め、誇りと自信を持てるような記載をこのビジョンに明記させて頂きたい。	SDGsと林業の関係については、ビジョンの中でコラムとして取り上げました。	ビジョンに反映した意見
60	多様で健全な森林の管理・保全	SDGsで、健全な森林整備・保全 クマが里に下りてこなくても良い 豊かな森、棲みやすい環境作りを期待しています。	本ビジョンにおいても、森林の区分（ゾーニング）に応じた適切な管理・保全を重要な項目と位置づけており、多種多様な生物の生育・生息の場でもある森林の多面的機能の維持増進を図ることとしています。	ビジョンに反映されている意見

「いしかわ森林・林業・木材産業振興ビジョン2021（案）」に対する意見募集の結果について

1 募集期間：令和3年2月19日（金）～令和3年3月19日（金）

2 寄せられた意見：77件（林業34、木材産業14、森林12、里山8、その他9）

No	項目	意見内容	意見に対する考え方（案）	区分
61	里山資源を活かした山村の振興	主伐後の広葉樹の植栽により、利用可能なきのこ、炭用、薪用原木の資源が拡大することを期待しています。	本ビジョンにおいても、経営に適した森林における主伐・再造林を推進するとともに、里山の広葉樹の循環利用を進めることとしています。	ビジョンに反映されている意見
62	里山資源を活かした山村の振興	里山資源を生かして生業につなげる取り組みは重要です。広葉樹資源の利用拡大に期待しています。	本ビジョンにおいても、里山資源を活かした山村の振興を重要な項目と位置付け、里山の広葉樹の循環利用を進めることとしています。	ビジョンに反映されている意見
63	里山資源を活かした山村の振興	県内の小中学校不登校及び不登校傾向にある児童生徒を対象に、豊かな自然環境に囲まれた里山を活用し、宿泊を伴う集団生活を通して、他者とのコミュニケーションを図ったり、活動に挑戦したりする自然体験型活動を実施する。そのための調査研究プロジェクト委員会を設立し、大学、NPO法人、市町適応指導教室などの教育関係機関に協力を依頼する。 また、木造による宿泊施設を建設するなど、地域住民の雇用創出や里山の整備活動につなげていき、将来の里山を担う若者の育成にも関係してくるのではないだろうか。	本ビジョンにおいても、多様な里山資源や森林空間の活用を通じた生業の創出や交流人口の拡大等により山村の活性化を進めることとしています。その他、いただきましたご意見については、今後の参考とさせていただきます。	ビジョンに反映されている意見 今後の参考とする意見
64	里山資源を活かした山村の振興	林業経営を目指す若者養成のための学校を設立する。このことを地域の活性化につなげ、地域活動への協力も同時に実施する。また、大学校はスマート林業普及を目的としたカリキュラムを実施し、将来の白山麓の林業を担う人材の育成に力を入れる。これらのことが山村の振興につながることを期待する。	本ビジョンにおいても、林業の担い手の確保・育成を重要な項目として位置づけており、スマート林業人材の育成対策を大幅に強化することとしています。その他、いただきましたご意見については、今後の参考とさせていただきます。	ビジョンに反映されている意見 今後の参考とする意見
65	里山資源を活かした山村の振興	天然林（更新伐）整備について、広葉樹のみならず針葉樹（アカマツ等）を含めた森林整備の取組を期待します。マツタケが絶滅危惧種となり地元でも生産量が激減していることから、天然林整備によりマツタケが取れるアカマツ林再生の取組で山村振興を期待しています。	本ビジョンにおいても、里山資源を活かした山村の振興を重要な項目と位置付け、里山資源の持続的な管理・利用を進めることとしています。また、まつたけをはじめとした野生きのこの発生を促す森づくり活動の支援についても進めることとしています。	ビジョンに反映されている意見

「いしかわ森林・林業・木材産業振興ビジョン2021（案）」に対する意見募集の結果について

1 募集期間：令和3年2月19日（金）～令和3年3月19日（金）

2 寄せられた意見：77件（林業34、木材産業14、森林12、里山8、その他9）

No	項目	意見内容	意見に対する考え方（案）	区分
66	里山資源を活かした山村の振興	環境伐などで、切り捨て間伐を行っているが、その際山に残された、林地残材などの利用を推進するだけでも、供給量は増えるのではないか。	本ビジョンにおいても、県産材供給量30万m ³ の実現に向け、林業経営に適した経済林については、材を搬出することを基本に取り組みを進めることとしています。 一方、林道等から遠いなど林業経営に適さない環境林においては、強度間伐（切捨て間伐）により管理コストの低い針広混交林等への誘導を図ることとしています。	ビジョンに反映されている意見
67	里山資源を活かした山村の振興	竹林整備を行った際に出る竹をバイオマス用や製品に活用できないか。竹のバイオマス発電は、日立が製作している。	本ビジョンにおいても、竹の活用については、県の試験研究機関等においてコスト面等の課題を含め、引き続き検討していくこととしています。	ビジョンに反映されている意見
68	里山資源を活かした山村の振興	薪ストーブやペレットストーブの導入の推進などのサポートを行う。	いただきましたご意見については、今後の参考とさせていただきます。	今後の参考とする意見
69	その他	前ビジョンの成果や反省を踏まえ、現在の森林・林業・木材産業が置かれている現状や国・石川県の施策に沿って、熟考され練られた適正で素晴らしいビジョンとなっていると思料する。 特に、国による森林経営計画制度や林地台帳制度等、森林法の改正に加え、森林環境譲与税と市町の役割の強化等を内容とする森林経営管理法の創設、また、石川県による各種の条例制定やいしかわの森林環境税の活用見直しなど、森林の保護、林業経営の改善、木材需要の拡大等を取り巻く環境がドラスチックに変革し向上した、かつてない好条件下での新ビジョンの内容は時宜を得た指針となっている。関係各位のご努力に対し、敬意を表するものである。 林業、木材産業の人的な不足に加え、今後重要な役割を担うことになる市町の職員、さらには、県職員の人員不足の中ではあるが、関係者の連携とさらなるご努力と踏ん張りにより、林業振興の基礎ともいえる「素材生産量30万m ³ 」を何としても達成させ、本県の森林・林業・木材産業のさらなる飛躍を期待するものである。	いただきましたご意見については、今後の参考とさせていただきます。	今後の参考とする意見

「いしかわ森林・林業・木材産業振興ビジョン2021（案）」に対する意見募集の結果について

1 募集期間：令和3年2月19日（金）～令和3年3月19日（金）

2 寄せられた意見：77件（林業34、木材産業14、森林12、里山8、その他9）

No	項目	意見内容	意見に対する考え方（案）	区分
70	その他	二酸化炭素排出規制で環境問題化している現象では、たとえば酸素排出している森林を補助金で皆伐・間伐・植林・保育などの施業（酸素排出補助事業）新たに補助事業制度にできないですか。	いただきましたご意見については、今後の参考とさせていただきます。	今後の参考とする意見
71	その他	指標を示すことが重要だということは理解する。ただ、その指標がノルマになり、運用にひずみが生まれているように感じることもある。指標を示す以上は適切に運用されているか（手段が目的化していないか）のチェックも併せて行う必要がある。今すぐに結果が表れない、林業という多面的な仕事だから見過ごしてはいけないことがあると思う。	ビジョンの指標は、森林・林業・木材産業に関わる全ての関係者が、10年後の目指す姿に向け取り組みを行っていく上で、進み具合を共有するために設定しています。 なお、本ビジョンは10年後を目標年度としておりますが、今後の情勢の変化に適切に対応する必要がある際は、概ね5年後に見直しを行うことを追記しました。	ビジョンに反映した意見
72	その他	全体として森林所有者が蚊帳の外に置かれている印象がある。本来、林業経営は森林所有者が行うもので、林業事業者は委託を受けて施業を代行しているにすぎません。さらに、「森林の公益的機能を発揮させる」という大義の下で国民の税金が投入されているにもかかわらず、収益低下しているから放置しているというのは権利ばかり主張して義務を果たしていないのと同じだと思います。 その森林所有者がハンコを押さない限り主伐・再造林は進まないのだから、時間はかかるけれど、「当たり前」と思っていることもあえて明文化して、森林所有者に森林整備の意義（義務）を周知し、理解してもらうことも必要ではないかと考えます。	平成31年4月に施行された森林経営管理法においては、森林の適切な経営管理について森林所有者の責務が明確化されており、本ビジョンでは、所有者による経営管理が行われない森林を市町が集積し、自ら又は林業経営者に委託して経営管理する森林バンク制度の活用を推進することとしています。 森林所有者への森林整備の意義や所有林の適切な管理についても、引き続き普及啓発に取り組むこととしています。	ビジョンに反映されている意見
73	その他	いしかわ森林環境税による竹林の整備、緩衝帯整備を実施してきました。獣害対策としても耕地にある竹林が山林に侵入してきている箇所が令和元年まで整備出来ていたのに、令和2年度から制度が山林のみと変わった為、山林に登記を変更しないと出来ないとの事で、耕地と繋がっている箇所の竹林整備が前のように整備できるよう期待したい。	いただきましたご意見については、今後の参考とさせていただきます。	今後の参考とする意見

「いしかわ森林・林業・木材産業振興ビジョン2021（案）」に対する意見募集の結果について

1 募集期間：令和3年2月19日（金）～令和3年3月19日（金）

2 寄せられた意見：77件（林業34、木材産業14、森林12、里山8、その他9）

No	項目	意見内容	意見に対する考え方（案）	区分
74	その他	<p>林業業者（受益者）側の責任・努力に帰するような、効率化・集約化の検証はなされているようだが、やはり将来にむけて循環型の木材生産を臨むにあたっては、使用する既存の農道・市道・既存の造林作業路の保護や補修に関しての費用について検討いただきたい。、施工業者側の自助努力では限界があり、切実な問題です。過去の枠組みにより、森林所有者（委託者）の一部の者が、農道管理組合的な組織・あるいは既設造林作業路の管理組合的な集まりの構成員でありながら、その木材生産に既存の道路を使用する際は、補修費用を考えると使用承諾についてハードルが高くなり、当事者たることの積極性に蔭りがさしてしまうこともあります。</p> <p>また、林内の森林作業道の高密度整備だけでなく、一度集約化施業のなされた団地、あるいはこれからある程度の規模で計画のある団地の、土場までの中距離舗装林道（20tトラック通行規格）の整備を、国・県・市町村一体となって、民有林はもとより、県管理森林・公社造林地・森林整備センター管理団地、市町村管理森林に、垣根をこえて整備することを御検討課題としていただきたいと考えます。</p>	<p>既存の農道や市道等の管理については、それぞれの道路管理者による管理が必要となりますが、林道は、今後の林業経営のみならず、地域防災の観点からも重要なインフラであり、機能強化や老朽化対策が重要であると考えます。</p> <p>なお、重要インフラである林道施設の機能強化や老朽化対策の推進について、本文に追記しました。</p>	ビジョンに反映した意見
75	その他	穴水町で実施されている新規林業従事者向けの補助金を県内各地、また製材業・木材産業者へも普及する。	いただきましたご意見については、今後の参考とさせていただきます。	今後の参考とする意見
76	その他	膨大な書類作成作業を減らす取り組みをする。	いただきましたご意見については、今後の参考とさせていただきます。	今後の参考とする意見

「いしかわ森林・林業・木材産業振興ビジョン2021（案）」に対する意見募集の結果について

1 募集期間：令和3年2月19日（金）～令和3年3月19日（金）

2 寄せられた意見：77件（林業34、木材産業14、森林12、里山8、その他9）

No	項目	意見内容	意見に対する考え方（案）	区分
77	その他	<p>風力発電が石川県（特に能登）の里山に対する脅威になってきています。能登では、里山の尾根を削り、高さ180メートルを超える風車を何十基も並べるような事業が計画されています。このような事業が実現すると、「いしかわ森林・林業・木材産業振興ビジョン2021」の実現は難しくなっていくように思われます。</p> <p>メガ風力は、巨大なプロペラなどを運ぶために、大量の木を伐採して道を作ります。たった20年の事業のために里山をズタズタにし、水脈を断ち、ボロボロになった状態で、地権者に返します。大量のコンクリートで固められた基礎部分の原状復帰などもなされないでしょう。</p> <p>このような状態を静観せず、森林管理課として、介入していただけないでしょうか。</p> <p>世界農業遺産でもある能登に、おびただしい数の風車が並ぶのであれば、登録の取り消しなどの可能性もあるかもしれませんし。秋には世界農業遺産の国際会議が能登で開かれると聞いています。そのときに恥ずかしい思いをしないよう、関係する部署で話し合っただけならばと思います。</p> <p>以上、よろしく願いいたします。</p>	<p>本ビジョンにおいても、林地開発許可制度の適切な運用により、無秩序な開発の未然防止や林地の保全を図ることとしています。</p> <p>なお、眺望景観の保全については「いしかわ景観総合条例」等に基づき、県の関係部局及び開発計画地の市町の連携により開発業者への指導に努めているところです。</p>	ビジョンに反映されている意見